

新型コロナウイルス感染症対応に係る 専修学校における 遠隔授業の取組事例集



文部科学省総合教育政策局
生涯学習推進課専修学校教育振興室

本資料は、一般社団法人全国専門学校情報教育協会の協力も得て、遠隔授業に取り組んでいる専修学校(準備中のものを含む)の取組をまとめたものです。
是非、これから遠隔授業に取り組まれる学校においてご活用いただければ幸いです。

目次

○日本航空専門学校	・・・ 1	○新潟ビジネス専門学校	・・・ 14
○北海道情報専門学校	・・・ 2	○ECCコンピュータ専門学校	・・・ 15
○吉田学園情報ビジネス専門学校	・・・ 3	○大阪情報専門学校	・・・ 16
○東北電子専門学校	・・・ 4	○日本分析化学専門学校	・・・ 17
○国際ビジネス公務員大学校	・・・ 5	○専門学校YICリハビリテーション大学校	・・・ 18
○中央農業大学校	・・・ 6	○穴吹デザインカレッジ	・・・ 19
○船橋情報ビジネス専門学校	・・・ 7	○専門学校穴吹コンピュータカレッジ	・・・ 20
○東京スポーツ・レクリエーション専門学校	・・・ 8	○河原学園 河原電子ビジネス専門学校等	・・・ 21
○日本医学柔整鍼灸専門学校	・・・ 9	○麻生医療福祉専門学校	・・・ 22
○日本工学院専門学校	・・・ 10	○学校法人KBC学園	・・・ 23
○早稲田文理専門学校	・・・ 11	○東京メディカル・スポーツ専門学校(新規)	・・・ 24
○情報科学専門学校	・・・ 12	○九州技術教育専門学校(新規)	・・・ 25
○新潟会計ビジネス専門学校	・・・ 13		

専修学校における遠隔授業の取組事例の主な特長

【講義科目関係】

- ・ ホワイトボードや黒板をPCカメラで映写し対面授業と同様に講義
- ・ 動画による講義、チャット・ビデオ通話による質疑応答、Googleフォームを用いた演習問題を出題

【実習科目関係】

- ・ グループ演習を伴わない講義や実習科目をオンライン授業で代替
- ・ 実習科目の一部について、実習操作のデモンストレーションを遠隔操作で教示
- ・ 実習動画を確認させ、自宅において実習を行うとともに、事後課題や成果物の写真送付等により評価

【学校養成所関係】

- ・ 講義について、双方向のオンライン授業とeラーニング教材の併用により対面授業を代替
- ・ 第1期を全てオンライン授業で行い、実技・実習を第2期以降とするなど授業計画の組み替え

【遠隔授業を行う上での工夫】

- ・ 学校独自の遠隔教育システムの活用
- ・ Microsoft Teams, ZOOM, Cisco Webex, YouTube, Google Classroom, LINE等多様なツールの活用
- ・ 講義、実習を組み合わせた授業
- ・ 基礎学習向けのeラーニング教材、遠隔指導 等

【生徒の通信環境等への配慮】

- ・ 情報環境のない生徒に対し、感染拡大防止対策を行った上でPCルーム等の活用
- ・ スマートフォン対応やノート型PC等の貸与
- ・ 自宅で視聴できない生徒には授業を録画したDVDを貸与

【生徒の学習等へのケア】

- ・ 学習面や生活面のフォローを行うためオンライン面談の実施
- ・ 卒業年次生には就職指導を実施

遠隔授業の取組事例集掲載URL: https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_kouhou01-000004520_2.pdf

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

日本航空専門学校／北海道

【授業開始】 4月2日に予定していた授業開始を
4月9日に延期

【期間】 4月9日～5月15日（状況により延期有）
1日平均6時間の授業を実施

【対象】 全学科（3学科）/学科教育
航空整備科：282名
空港技術科：200名
国際航空ビジネス科：176名

【方法】 タブレット型PC、大型モニター設置、
カメラを使用した同時双方向型授業
（スマートフォン対応可能）

【内容】

- ・ 2月中旬より準備を開始
- ・ 3年前より行っている本学独自のeラーニング教材を使用した授業
- ・ 出欠確認、ホームルームを実施（学生の顔を確認）
- ・ 実習機材をカメラで撮影しながら説明
- ・ 実習を伴う授業は学科教育を先行して実施



【内容】（続き）

- ・ 航空整備科は国土交通大臣指定航空従事者養成施設のため原則、対面の教育となっているが座学の授業においては双方向のオンライン授業とeラーニング教材を使用し進捗確認を行うことで航空局から正式な授業として認められた。
- ・ 一等航空整備士養成コースの3年次の教育はエアライン(JAL/ANA)の指定養成の教育を学内の教官と共同で行うプログラムとなっている。今回の双方向オンライン教育も各エアラインより承諾を得ている。

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

北海道情報専門学校／北海道

【授業開始】 4月1日

- ・当初は分散登校・コミュニケーションツールでの指示による課題演習で対処
- ・4月13日から順次遠隔授業に移行

【期間】 4月13日～5月29日（状況により延期有） 1日平均3時限の授業を実施

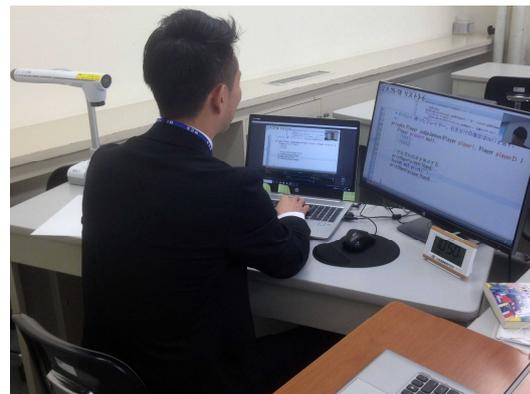
【対象】 全6学科：880名

【方法】 PC（ノート型）、モニター設置、 動画配信とチャット・通話（コミュニケーションツール）を併用した同時双方向型授業

- ・スマートフォン対応（動画・チャット・通話）
- ・プログラミング実習環境を持たない学生に対するノート型PCの貸与

【内容】

- ・4月初旬より準備を開始（学生のPC保持・インターネット接続環境調査）
- ・既存の遠隔教育システム（グループ校一斉受講可能なPINE-NET/II）の利用（学生の自宅で受講を可能にするため、動画配信サービスを活用）



【内容】（続き）

- ・出欠確認、ホームルームを実施（動画配信とコミュニケーションツールを併用）
- ・授業はPC画面や書画カメラで撮影しながら説明
- ・グループ演習を伴わない講義・個別のPC実習科目を先行して実施
- ・コミュニケーションツールを利用して演習課題を配布、提出

2

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

吉田学園情報ビジネス専門学校／北海道

【授業開始】 4月2日の授業開始を4月9日に延期して 今後の教育活動のオリエンテーション実施

【期間】 4月9日～5月29日（緊急事態宣言解除時期 で延長可能性有）

（5月より）1日平均4時間授業

【対象】 全学科全学年 271名 （グループ校全体で実施済か近日開始予定）

【方法】 全学生に貸与済のノートPCを使用 教員側は大型モニターやビデオカメラを使用 した同時双方向型授業を実施

【内容】 「Webex」と「Google Classroom」の併用

- ・新入生は、基礎学習向けのeラーニング教材を使用して、数学を含む複数科目を実施。取組状況が悪い学生には遠隔で個別指導を行っている。
- ・進級生の「クリエイター系クラス」は、個人作品制作を推し進め、遠隔で個別指導を実施している。「IT系クラス」は、資格対策用eラーニング教材を使用して遠隔で指導を行っている。
- ・授業内容は原則録画を行い、二次利用を想定した資産蓄積を行っている。
- ・課題提出、テストは「Google Classroom」にて実施、管理している。
- ・教務部は各担当から回収される「授業記録簿」にて実施状況の管理を行う。
- ・就職活動学生向けに企業の協力により「オンライン会社説明会」を推進中。



3

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

東北電子専門学校／宮城県

- 【授業開始】** 4月6日に予定していた授業開始を
4月14日に延期
- 【期間】** 4月14日～5月31日（状況により延期有）
1日平均3時間の授業を実施
- 【対象】** 全学科（22学科） / 計1,630名
- 【方法】** Microsoft Teamsを利用した同時双方向型
遠隔授業。教員：学内 または自宅(PC)
学生：自宅(PC / iPad /スマートフォン)
- 【内容】**

- ・遠隔授業実施前に実験授業を行い、Teamsが対応できる人数、文字・画像の見やすさ、音声の聞き取りやすさ等を確認
- ・学生の出欠は、会議への参加者リストの確認と、全員に同一問題を提示し、Teamsの会議チャットに解答を投稿させて記録
- ・事前に授業のテーマを提示し、当日までにテキストを読むことを指示
- ・学生に対する演習の指示や課題への取組み方の説明等は、PowerPoint等で資料を作成し、Teamsの共有機能を使用



【内容】（続き）

- ・欠席者には、PowerPointの資料を本校ポータルサイトで公開、質問がある場合は個別対応を実施
- ・提出物の回収は、Class Notebookを使用し、学生の個人フォルダに提出させて確認
- ・実習科目については、デモ（実習操作）の部分抜き出し、PCから遠隔操作で教示
- ・Teamsの会議中に、学生の反応を確認する場合は、Formsでアンケートや質問を作成し投票させる

4

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

国際ビジネス公務員大学校／福島

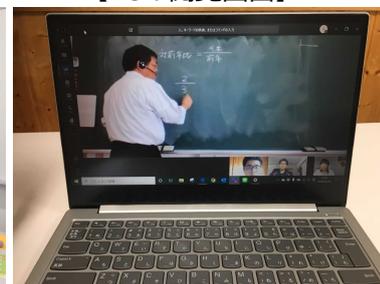
- 【授業開始】** 4月13日に予定していた授業開始を
5月11日に延期
- 【期間】** 5月11日～5月末日（状況により延期有）
1日平均3～4時間のLIVE配信授業を実施
- 【対象】** 全学科（5分野・13学科・計349名）
- ・公務員分野 : 120名
 - ・医療事務分野 : 80名
 - ・ビジネス分野 : 62名
 - ・国際分野 : 56名
 - ・こども保育分野 : 31名
- 【方法】** ノートPC、Microsoft Teamsを使用し
ての同時双方向型授業（PC、タブレット
端末、スマートフォン対応可能）
- 【内容】**

- ・チャット機能を使用し出欠確認
- ・講義形式の科目中心にオンライン授業化
- ・ホワイトボードや黒板をパソコンのカメラで写し通常の授業と同様に展開

【オンライン授業の様子】



【PCの閲覧画面】



【内容】（続き）

- ・解答・解説時は、教員の手元をカメラを写し解いている様子をリアルタイムで学生に見せ理解させる
- ・ファイル共有が可能のため、オンライン授業と同時に補助教材としてのPDFデータを閲覧させて授業を進める
- ・80人以上の学生が同時に参加する合同授業を実施（システム上、250人まで同時参加可）
- ・通常のオンライン授業の他に個別もしくは少人数での補講授業を実施

5

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

中央農業大学校／群馬県

- 【授業開始】4月10日に予定していた授業開始を4月13日以降に延期
- 【期間】4月13日～5月29日（状況により延期有）5/18以降は1日平均3時間の授業を実施
- 【対象】全学科（2学科）/学科・実習演習教育
 ファーム農業経営学科：46名
 農業経営学科：35名
 食農調理師学科：6名
- 【方法】タブレット型または通常PC、カメラを使用した同時双方向型授業（スマートフォン対応可能）

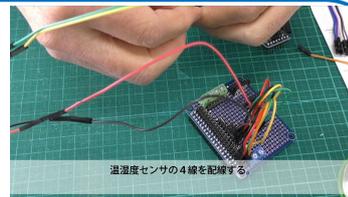
【内容】

- ・本年度より行っている本学独自のeラーニング教材を使用した授業
- ・学科に関しては教科書、プリントの説明を実施しGoogleフォーム等を使用しての設問、質疑応答を確認
- ・農業実習、調理実習、農作物加工実習は実習動画を確認後にプリント対応や各自、調理後に写真を転送する
- ・できる限り実習を伴う授業は学科教育を先行して実施
- ・ZOOMやWebex等を使用してハイブリッド型授業を実施



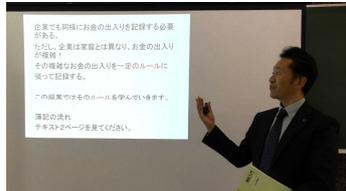
覆土：種まき後に培土で覆います

農業実習：種物の育苗をVol.1～3まで視聴し教科書参照し課題を対応する

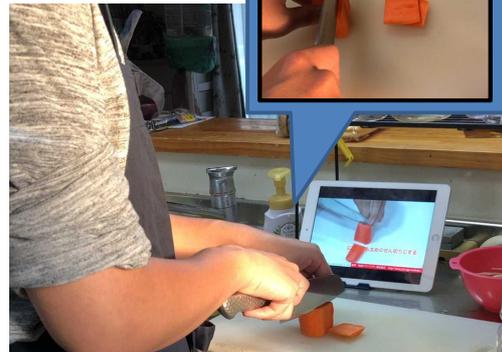
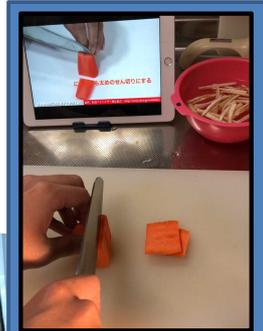


温度センサーの4線を配線する。

農業ICT実習：農業センサDIY視聴後、プリント記入して返信する



農業簿記：座学教科書プリント対応



調理実習：課題を手順に従って行い結果をリターン

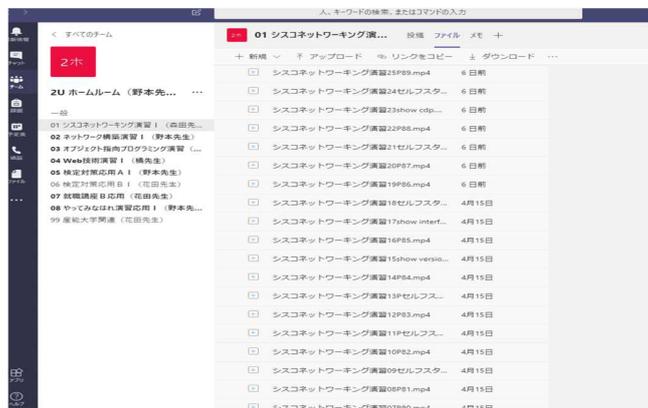
新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

船橋情報ビジネス専門学校／千葉

- 【授業開始】4月13日に予定していた授業開始を4月20日に延期
- 【期間】4月20日～未定
1日あたり90分×3コマの授業を実施
- 【対象】全学科（7学科）
 ITエンジニア科4年制：178名
 ITエンジニア科：163名、情報処理科：177名
 情報ネットワーク科：181名
 Webクリエイター科：78名
 ITビジネス科：131名、こども学科：37名
- 【方法】PC、スマートフォンで、受講および双方向のやり取りを行う

【内容】

- ・動画による講義、チャット・ビデオ通話による質疑応答、Googleフォームを用いた演習問題
- ・Microsoft Teams等を用いた出席確認
- ・学生同士のグループ作業はオンライン上で実施



【内容】（詳細）

- ・学生は時間割に沿って動画を視聴。質問は授業時間中はチャットで、授業終了後はチャットもしくはビデオ通話で行う。単元終了ごとにGoogleフォームを用いた小テストで効果測定を行う。
- ・授業時間外には担任が学生とビデオ通話によるオンライン面談を実施。学習面だけでなく生活面の不安などのケアも行う。

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

東京スポーツ・レクリエーション専門学校／東京

- 【授業開始】 4月7日に予定していた授業開始を6月1日に延期
- 【期間】 4月20日～5月31日（状況により延期有）
1日平均3時間の授業を実施
- 【対象】 学科教育
スポーツトレーナー科：129名

【方法】 タブレット型PC、大型モニター設置、カメラを使用したオンデマンド型授業（スマートフォン対応可能）

- 【内容】
- ・3月下旬より準備を開始
 - ・実習機材をカメラで撮影しながら説明



【内容】（続き）

- ・アスレティックトレーナーを目指す学生向けに全学科に先行してオンデマンド型の一方通行授業を実施。質問等学生からの要望は、Moodle・LINEを使用しフォローを実施している。

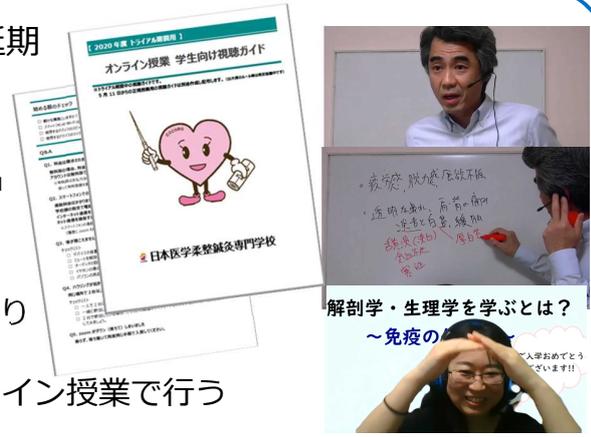
使用ツールは、テレビ会議システムの「Zoom」を使用している。現状、録画したオンデマンド型の授業発信。5月中旬より全学科同時双方向型の授業を展開予定。

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

日本医学柔整鍼灸専門学校／東京

- 【授業開始】 4月3日に予定していた授業開始を5月11日に延期
- 【期間】 5月11日～7月21日（全4期制の1第期）
- 【対象】 全学科（4学科）
柔道整復学科昼間部：166名 同 夜間部：117名
鍼灸学科昼間部：200名 同 夜間部：161名
- 【方法】 WEB会議システムを利用した同時双方向型授業（スマートフォン対応可能～学生のWEB端末調査により）

- 【内容】
- ・3月下旬より準備を開始し、4月1日に第1期はすべてオンライン授業で行うことを正式決定
 - ・実技や実習授業は第2期以降に組み替え
 - ・学生および教員がオンライン授業に慣れること、実際の運用上の課題抽出含め、テスト導入としてのプレ授業を4月20日から全9日程(のべ36コマ)で実施
 - ・オンライン授業に関する教員向け・学生向けのマニュアルを作成する一方、プレ授業で気づいた留意点や工夫を教員同士で共有しアップグレード
 - ・学生とのコミュニケーションを補うためのWEB会議システムを利用した場『コミュニケーションルーム』（日時指定）を設置
 - ・どうしても受講環境が整わない場合や欠席対応を想定して録画配信を予定
 - ・オンライン授業では、必ず授業を担当する教員以外に補助教員(共同ホスト)を配置し、授業中の入退室や授業フォローを行う体制に



新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

日本工学院専門学校ITカレッジ／東京都

- 【授業開始】** 4月8日に予定していた授業開始を
4月21日に延期
- 【期間】** 4月21日～（情勢により遠隔授業延長有）
1日平均3時間分の遠隔学習を展開
- 【対象】** ITカレッジ(進級学年) / 資格対策など
ITスペシャリスト科
情報処理科
パソコン・ネットワーク科
- 【方法】** Google Classroomを介したオンデマンド、
配布済みノート型PC内蔵カメラを使用した
同時双方向型によるハイブリッド対応
(スマートフォン対応も可)

【内容】

- ・3月中旬より準備を開始
- ・6年前より運用しているclassroomを活用した展開
- ・ホームルームも実施（学生とのコミュニケーション）
- ・チャット、メールによる質問対応も実施



【内容】（続き）

- ・情報処理技術者試験（IPA）座学の授業においては双方向のオンライン授業とオンデマンド教材での反復、フォームを使用し小テストなどを複合して行うことで最低限の効果は出ている。（新入生にはさらにe-learningを提供し運用を開始する）
- ・実習の授業についても配布済みノートPCとインストール済みの環境を用いて双方向型の授業の配当を開始。なおサポートについてはチャット機能を用いてティーチングアシスタントが適時対応する。

10

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

早稲田文理専門学校／東京

- 【授業開始】** 4月8日に予定していた授業開始を
6月1日に延期
- 【期間】** 4月20日～5月31日（状況により延期有）
- 【対象】** ゲームクリエイター学科 52名

- 【方法】** Teamsを活用した課題提出
- ・科目毎にテキストを配布
 - ・確認テストを配布
- （テキスト配布後3日後以降で回答期限は1週間）
- ・質問等はチャットを利用して行う。
- （スマートフォン対応可能）



【内容】

- ・4月の緊急事態宣言発令後より準備を開始
- ・今回の休校措置対応用にテキストを新たに作成
- ・学年毎に指導方法を変更して対応
- ・Microsoft365を学生全員に配布し、学習環境およびコミュニケーション環境を整備

【内容（続き）】

- ・新入生についてはIT基礎教育を中心にTeamsを利用してテキスト配布、確認テストを配信
- ・質疑等についてはTeamsのチャットを利用
- ・卒業年次生についてはポートフォリオ制作および就職指導を実施
- ・就職アンケートや生活状況アンケートも実施

11

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

情報科学専門学校／神奈川

【授業開始】4月7日に予定していた授業開始を
5月7日に延期

【期間】5月7日～（状況に応じ対面授業実施）
1日平均6時間の授業を実施

【対象】全学科（8学科）
情報セキュリティ学科、実践AI科、
先端ITシステム科、情報処理科、
Web技術科、実践IoT科、ビジネス科
ITライセンス科

【方法】遠隔会議システムとLMSを組み合わせた
同期型オンライン授業
学生はPCまたはスマホで受講可能

【内容】

- ・2月中旬より準備を開始
- ・3年前より導入しているLMSベースのオンライン
科目の仕組みを対面授業科目にも応用
- ・出欠は遠隔会議システムで自動チェック
- ・講義、課題、ディスカッション、グループワーク
などをLMSと遠隔会議システムを活用してリアル
タイム双方向型で実現

- 学習ガイド
- スライド資料1
- R言語インストーラー

この授業で使用するデータ分析ソフトRのインストーラーです。欠席した場合は次回授業までにスライド資料を
ーし、動作確認を行っていただきます。

<演習1> 「相性」がデータで分かったら実現したいこと

ダイジェスト1

利用期間 次の条件に合致しない限り利用できません:

- ・活動「<演習1> 「相性」がデータで分かったら実現したいこと」が完了マークされた場合
- ・2019年09月27日14:00以後
- ・2020年02月7日12:40以前

eラーニングシステムのIDとPassは（変更してない場合は）

ID: n学籍番号

Pass:

【内容】（続き）

- ・当面の間は全ての科目をオンラインで実
施
- ・プログラミング演習やプロジェクト学習
なども画面共有機能および遠隔操作機能
を活用することで、実技指導を実現
- ・学生支援(出欠・公欠、資格取得、就職支
援、ポートフォリオ作成等)や授業アンケ
ートは従前よりシステム化済み
- ・オンライン授業での著作物の利用につい
ても指定機関へ届け出済み

12

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

新潟会計ビジネス専門学校／新潟

【授業開始】4月2日に予定していた授業開始を
4月7日に延期

【期間】4月7日～5月29日（状況により延期有）
1日平均6時間の授業を実施

【対象】全学科（5学科）/学科教育
経理ビジネス学科
事務・ビジネス総合学科
ITビジネス総合学科
税理士学科
会計ライセンス学科

【方法】オンライン、動画配信、Webアンケート、
SNSを使用した複合型授業

【内容】

- ・3月中旬より準備を開始
- ・配信用の授業動画を予め撮影し、YouTubeに限定公
開でアップ
- ・出欠確認、ホームルームをオンラインで実施（学生
の顔を確認）
- ・その後、SNSを通し、動画配信URLを送付



【内容】（続き）

- ・学生に授業動画の視聴をしてもらう。
- ・授業終了時間を見計らい、授業のアンケ
ートURLをSNSで配信。Webアン
ケートに回答してもらう。
- ・次の日のホームルーム（オンライン）に
て、Webアンケートの結果から、前日の
授業における不明点等の解説を行う。
※これを毎日繰り返す。
- ・定期テストもオンラインで実施予定。

13

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

新潟ビジネス専門学校／新潟

【授業開始】 4月6日の予定を4月7日に延期
【期間】 4月7日～5月29日（状況により延期有）
1日平均4時間の授業を実施（5月より拡大）

【対象】 全学科（9学科）
医療秘書・事務学科、IT医療情報学科
販売スペシャリスト学科、医薬品・登録販売者学科
ビジネス秘書・事務学科、オフィスビジネス学科、
事業創造学科、イベントビジネス学科、
ビジネスライセンス学科

【遠隔授業に必要な教具】

ノート型PC、大型モニター設置、学生はスマホまたはPC。

【方法】 Webカメラを使用した同時双方向型授業。または動画撮影した内容を活用した授業。

【内容】 講義系科目・PC系科目・面接練習など

- ・3月中旬より準備を開始。
- ・Zoom、Teamsアプリを学生と教員相互にダウンロードし、オンラインで授業を実施。またはYouTubeで限定公開した授業動画を見ながら、講義や課題を行う形式をとっている。
- ・動画の出欠確認は開始前にオンラインで学生の顔を確認。授業後は学生からメールまたはSNSで課題を受け取り、添削して返信をおこなっている。また、Web上で授業アンケートを実施し、学生の疑問・質問の確認と、その後の個別指導に活用している。



14

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

ECCコンピュータ専門学校／大阪府

【授業開始】 4月13日に予定していた授業開始を
4月20日に延期、5月11日に再延期。
【期間】 5月11日～5月22日（状況により延期有）
すべての必修科目で実施

【対象】 全学科

【概要】

自宅にてノートパソコンを使って、オンラインで授業受講と課題提出を行う。

受講は録画された授業を視聴または解説文書を読む形とする。ライブ授業は行わない。

受講後、授業内で指定された課題を指定期日以内に提出することで出席扱いとする。

【準備コンテンツ】

授業コマ単位の授業資料と課題。

- ・授業資料：講義文書、スライド資料、動画などのファイルおよび視聴URL
- ・課題：演習問題、確認テスト回答、授業の感想と質問、レポートなど。

【授業資料の取得方法】

毎週月曜日に「配布サーバー」より1週間分の授業資料をダウンロードまたは動画を視聴する。

【授業課題の提出方法】

毎週木曜日23:59までに「提出サーバー」にて課題を提出する。

【授業のことで質問がある場合】

ビジネスチャットアプリ「Slack」を使って授業担当に、クラス名・氏名・科目名を明記の上、質問をする。原則として、該当する週の金曜日までに回答を送る。

15

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

大阪情報専門学校／大阪

【科目】 JavaScript (プログラミング)
【授業期間】 4月24日～6月18日 (15回)
【対象】 大学併修学科 他：158名
【環境】 学校側：PC(カメラ、マイク内蔵)、
 dual display、書画カメラ
 学生側：PC^{*1)}、タブレット端末、スマホ
 Microsoft Teams (遠隔プラットフォーム)^{*2)}
 Microsoft Forms (コミュニケーションプラットフォーム)^{*2)}
 paiza.IO (オンライン実習ツール) ※遠隔授業での利用申請済
^{*1)} 希望者にはノートPC貸出し ^{*2)} 在学生全員にアカウント付与



【授業】

- ・ 講義時間(Teamsから事前通知)に学生はログインし、オンライン授業に参加する。
- ・ 授業時間は講義60分、実習30分を目安とする。
- ・ 講義時間は、JavaScriptのプログラムの流れや、教科書に関する記述内容などを、講師端末や書画カメラを共有しながら解説する。
- ・ 双方向授業を中心にモチベーションを維持するため、授業中は常時、チャット機能を利用した発問や学生からの質問・意見の収集に努める。

【授業】 (続き)

- ・ 実習時間は、個別の実習環境^{*3)}でプログラミングを試行しながら動作確認を行う。
- ^{*3)} paiza.IOは、インターネット上の実行環境を利用するため、個人環境に影響されず全員が同じ結果を得ることができる。
- ・ 授業アンケート(Forms)と課題提出で振り返りと出席確認を行う。
- ・ 授業は同時録画され、後日受講や復習用としてTeams環境下でオンデマンド配信する。

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

日本分析化学専門学校／大阪府

【授業開始】 4月13日の当初予定通り
【期間】 4月13日～5月29日
 (状況により延長)
【対象】 全学科 (304名)
【方法】 WEB会議システムを利用した同時双方向型授業



【内容】

- ・ 4月6日に遠隔授業の実施を決定。カメラ・マイク・有線LAN等を整備。教員用・学生用マニュアルを作成周知。
- ・ ZoomのID、パスワード、教科書以外の教材や課題、連絡事項は、前日メールで送信すると同時に学生専用HPにアップロード。
- ・ 一日2コマから最大5コマの実施 (出席率平均90%)。
- ・ 音声による出欠確認、挙手機能による質問確認、チャットによる質問受付を実施。
- ・ 当日の授業動画はすべて録画し、同日中にYouTubeへアップロード。学生専用HPからのリンクにより、リアルタイム視聴ができなかった学生のフォローや復習素材として活用。自宅で視聴できない学生にはDVDにコピーして貸し出し。
- ・ その他対応策として、学生専用HPに個別相談の申込フォームを設置。希望日時と講師を申告。その希望に添い、学習面、生活面のフォローとしてオンライン面談を実施している。

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

専門学校YICリハビリテーション大学校/山口県

【授業開始】 4月6日一般授業開始、
4月10日より自宅待機、
4月11日より遠隔授業開始

【期間】 4月11日～5月24日（状況により延期有）
1日平均4時間の授業を実施

【対象】 全学科（2学科4学年）/学科教育
理学療法学科：111名
作業療法学科：53名

【方法】 ノート型PC、プロジェクタ設置、
カメラを使用した同時双方向型授業

【内容】（スマートフォン対応可能）

- ・4月初旬より準備を開始
- ・Moodleを用いた課題・テスト形式
- ・Zoomを用いた遠隔授業（5月11日より実施）
- ・出欠確認、ホームルームを実施（学生の顔を確認）
- ・講師およびホワイトボードを撮影しながら講義
- ・講義資料・課題はMoodleにて事前配布
- ・Zoomにて適宜質疑応答を実施



【内容】（続き）

・両学科は厚生労働省の定める理学療法士作業療法士養成施設であり、原則、対面の教育となっているが、文部科学省通知より、今般の新型コロナウイルス感染症対策の一環で遠隔授業は対面授業に相当する教育効果を有すると認められた。

左記の学習手段を同時かつ双方向、質疑応答などによる指導を合わせ行い、生徒の意見の交換の機会が確保されていることを確認しながら、遠隔授業を実施している。

18

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

穴吹デザインカレッジ/香川

【授業開始】 4月10日に予定していた授業開始を
5月7日に延期

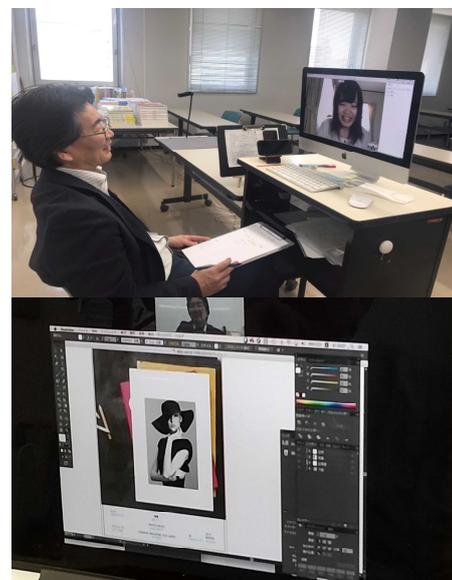
【遠隔期間】 5月7日～5月31日(状況により延長有)

【対象】 穴吹学園16校(高松市・徳島市・福山市・広島市)
約3,000名

【方法】 Cisco Webex meetingおよびGoogle Meet・
Google Classroomを組み合わせて使用した同時双方向
型オンライン授業
教員は学内で配信・学生は自宅・もしくは環境の無い
留学生は学校で3密を避け受講

【内容】

- ・3月より休講に備えて16校のオンライン授業準備を開始。
（環境整備・配信テスト等のスケジュールを本部で構築）
- ・昨年よりスタートしている遠隔授業を土台に展開。
- ・Google classroomに掲示しておいた実技課題を、学生は前もってダウンロード。
- ・教員が課題を説明したのち学生は各自時間内に作成し、classroomに提出。
- ・学生は自宅からプレゼンテーションを行い、教員を含む他の学生全員で評価する。
- ・Google classroom, チャット, 投票機能を使用した学生とのコミュニケーションのほか
確認テスト, アンケートを実施。
- ・個別でもガイダンスする。

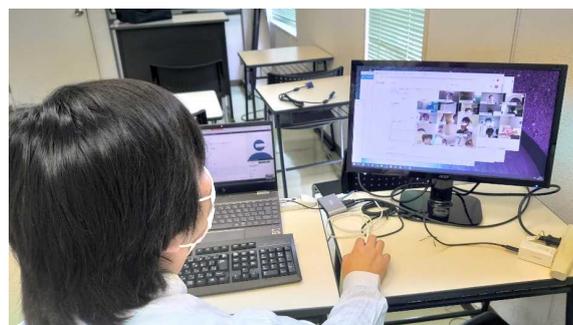


19

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

専門学校穴吹コンピュータカレッジ／香川

- 【授業開始】** 4月11日に予定していた授業開始を
5月7日に延期
- 【期間】** 5月7日～5月31日（状況により延期有）
1日平均6時間の授業を実施
- 【対象】** 全学科（5学科）：183名
情報システム学科
ネットワークセキュリティ学科
ゲームクリエイター学科
情報ビジネス学科
国際ITエンジニア学科
- 【方法】** ノート型PC、モニター設置、
Webカメラを使用した同時双方向型授業
（スマートフォン対応可能）
- 【内容】**
- ・3月中旬より準備を開始
 - ・出欠確認、ホームルーム・ガイダンスを実施
 - ・パワーポイントや作成資料を示しながら説明
 - ・座学を中心に実施しているが、一部実習授業も配信



20

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

河原学園 専門学校9校／愛媛県

【実施校】

河原電子ビジネス専門学校、河原アイペット
ワールド専門学校、河原デザイン・アート専門学
校、河原ビューティモード専門学校、河原医療大
学校、河原ITビジネス専門学校、大原簿記公務
員専門学校 愛媛校、河原医療福祉専門学校、河
原パティシエ・医療・観光専門学校
計9校

【遠隔授業】

4月初旬以降、授業開始日を延期、再延期
としてきたが、全校5月18日より遠隔形式で
授業を開始する予定

配信方式は、同時双方向型が中心だが、学
科・科目によってはオンデマンド型も選択

※一部の校は先行的に遠隔授業を実施。

※実習授業は、分散して従来形式の実施。

【期間】

5月18日より、一ヶ月程度の予定（状況に
より再検討する）

※対面授業再開後も、復習・補習用に動画配信は継続予定

【環境・機材】

（教員側）

学内もしくは自宅からコンピュータにより配信
※カメラ・マイクなしのコンピュータの場合、カメ
ラ・マイク追加

（学生側）

入学時に購入したノートパソコン、もしくは、タブ
レットを用いて自宅で受講

※未購入者は、個人のスマートフォンを使用

※Wifi等の環境のない学生は、学内に視聴環境を用
意

【プラットフォーム】

セキュリティを考慮し、フリーウェアではなく、
Microsoft 365を選択。そこに含まれる各種ソフト
ウェアを、教員側、学生側の双方で活用

【準備等】

3月より、遠隔授業実施を想定した準備を進め、
サーバ環境の整備、上記ソフトウェアの動作確認、
運用方法の策定、遠隔授業のマニュアル作成（教員
向け・学生向け）、教員向け研修、教員・学生向け
相談窓口設置を実施

21

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

麻生医療福祉専門学校／福岡

【授業開始】4月10日に予定していた授業開始を5月11日に延期→状況を鑑み対面授業開始は6月29日まで再延長

【遠隔期間】5月11日～6月26日 1日平均2コマの授業を予定

【対象】医療秘書事務科、診療情報管理士科 全学年

【方法】ノート型PC、手元資料カメラにて授業を配信するLive授業型

【内容】

- ・4月よりテレワークが実施され、4月末に教科書発送しました。
- ・Live授業を基本としTeamsを標準ソフトとして使用します。
- ・出欠確認についてはLiveチャットにて「いいね」ボタンを押すことで学生が参加したかどうかを確認しています。その後、映像も共有し順次出席を呼び掛けにて確認。授業終了時も「いいね」ボタンにて在籍確認を行うとともに、授業をレコーディングし出席の証明とするよう統一しています。
- ・スマートフォンを手元資料用のカメラとして活用することで、PCカメラと手元資料とを切り替えてOHPのように資料を共有することができています。黒板を写すよりも手元資料に直接書き込むことで学生からの視聴はしやすくなるようです。特に医療事務のレセプトなど、細かい表示では役に立っています。今後も更なる工夫を加えながら遠隔授業を実施して行きます。



22

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

学校法人KBC学園／沖縄

【授業開始】4月8日に予定していた授業開始を6月2日に再延期

【期間】5月11日～6月1日（状況により延期有）
オンラインを活用して、1日平均3～5時間の授業実施を一部学科にて予定

【対象】全校（8校）/環境が整った学校・学科から順次対応
専門課程：1,732名
高等課程：142名（通信課程含む）

【方法】ノート型PC、タブレット、大型モニター設置、カメラを使用した同時双方向型授業及び映像配信授業（スマートフォン対応可能）への取り組みを準備中

【職員の業務体制】

- ・4月中旬より自宅待機（在宅勤務）措置を講じ、一部職員が出勤して対外業務を対応
- ・GoogleMeetやZoomを活用したオンラインMTを実施
- ・自宅待機（在宅勤務）に遠隔授業に向けた準備
- ・YouTube用授業動画の撮影作業

【学生への対応内容】

- ・4月中旬より準備を開始
- ・一部学校（公務員系）において高校生向け講座をビデオ撮影し、YouTubeで配信
- ・デザイン系学校で学生とZoomを活用しHRにて状況確認を実施
- ・IT系において動画配信教材を活用
- ・座学中心の授業を先行して実施予定
- ・自己学習課題を用意し学生へ郵送
- ・美容系学校においては、実習授業においてオンライン授業への取り組みに苦慮
- ・GoogleMeet、Zoom、YouTubeを活用した遠隔授業に関する学園ガイドラインを作成中
- ・県内の先進的に取り組んでいる教育機関を見学し参考にしながら試行錯誤を繰り返している
- ・学生の家庭環境に差があるために一斉取り組みが出来ない
- ・学生への環境整備のための補助を検討中

23

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

東京メディカル・スポーツ専門学校／東京

- 【授業開始】 4月7日に予定していた授業開始を
5月11日に延期
- 【期間】 5月11日～6月30日（状況により延期有）
1日平均2時間の授業を実施
- 【対象】 全学科教育：686名
柔道整復師科・鍼灸師科・理学療法士科Ⅰ・Ⅱ部
- 【方法】 タブレット型PC、カメラ付きPC、各教室スクリーン、カメラを使用したオンライン
（オンデマンド・リアルタイム型授業）
※スマートフォン対応可能
- 【内容】
- ・4月より準備を開始
 - ・授業形態は座学・実技系ともmoodleとzoomの両方を使って授業をしている。
 - ・オンデマンド授業は視聴動画を繰り返し学習が出来ることと一方向型にならないようにmoodle上に課題学習と質問箱を設置。学生からの質疑応答



【内容】（続き）

- が出来るようにしている。
また、実技系についてはzoomを使い多面的な動き確認ができるようにしている。
- ・オンライン授業では単調にならないようにグループワークや適度な質問タイムなど双方向を意識して組み立てている。
 - ・5月から順次始めて6月には全科目でオンライン授業を発信する。

24

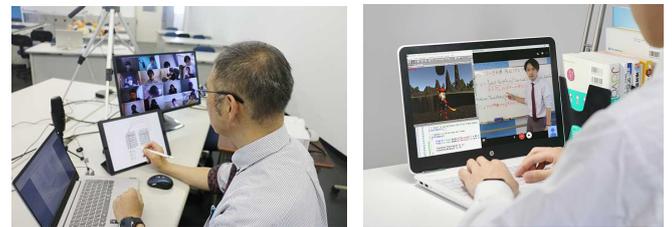
新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

九州技術教育専門学校／熊本

- 【授業開始】 3月2日 高等課程、授業開始
4月9日 専門課程、授業開始
- 【期間】 3月2日～5月31日（状況により延期有）
1日6時間の授業を実施
- 【対象】 全学科（3学科）/学科教育
専門課程 85名（情報システム工学科、医療情報学科）
高等課程 87名（情報システム科）
- 【方法】 ノート型PC、モニター設置、
「Google Meet」利用による同時双方向型授業

【内容】

- ITスキルが低い先生は、「いつも通りの授業をカメラの前でやるだけ！」という環境づくり
- その1. 資料の配布の簡略化（共有フォルダ）
デスクトップに各教科の共有フォルダを置き、各授業の資料を入れるだけで、クラスの生徒達に資料が行き届くようにする。
- その2. スムーズな授業開始（常時接続）
各クラス毎日同じ会議URLを使い、1日つないだままにしておく。
- その3. 毎朝の環境チェック
クラス担任により、ホームルームのホワイトボードや教員がきれいに映るか、音声聞こえるか等のカメラの調整、及び回線接続テストを実施する。



【内容】（続き）

- 情報系専門科目の講義・演習では、
- ・iPadやペンタブレットを使ったホワイトボードアプリでの説明
 - ・Google Classroom を利用した授業資料の提供
 - ・Google フォームを利用した問題演習と自動採点
 - ・画面共有機能を利用した資料の説明や学生・生徒の支援
 - ・Chrome リモート デスクトップを利用した遠隔操作での操作サポート
- 70.3%の生徒が、オンライン授業を普通の授業と同程度、またはそれ以上にわかりやすいと回答

25